

第4期計画の主な振り返り

少子高齢化が進む勝田団地では、人と人とのつながりを大切にする温かいコミュニティとして、平成20年より「おもいやりネットワーク連絡会」を立ち上げ、住民からの声で生まれた居場所としてのサロンや食事会、生活上のお困りに対応するおたがいさま会などの活動について共有しています。お困りごとの中で一番声のあった買い物について、令和5年から移動販売も開始されました。進めていく中で、消防署とは防災について、ケアプラザとは認知症講座をする等、発見した課題について地域全体で学ぶ機会も入れています。これからも、すべての住民が健やかで幸せに暮らしていける団地を目指して、地域全体で取組を実施します。

かちだ地区 第5期計画

「わたしたちが目指すまち」



目標1 》かちだ地区おもいやりネットワークの 更なる充実を図ろう

- 取組**
- 全世帯を対象に緊急連絡先カード・そなえ安心カードで緊急時の連絡先を確保するとともに定期的な更新と継続を行います。
 - ライト運動や防犯パトロールを通じて、さりげない見守りと各住戸の異常時の早期発見につなげます。
 - 高齢者の交流の場として「サロンひだまり」を充実させます。
 - 年2回の災害時安否確認訓練を継続し、さらなる具体的な行動を検討していきます。
 - おもいやりネットワークが住民に根付くよう、取組を周知していきます。

目標2 》健やかで幸せな健幸団地を目指そう

- 取組**
- 健“幸”ラジオ体操の継続実施を目指します。
 - ボッチャ等の室内でも実施できる活動を通して、健康づくりを実施する人を増やします。
 - 支援が必要な方への理解を進め、温かく見守る地域づくりを目指します。

目標3 》地域で子どもを育てよう

- 取組**
- 笑顔であいさつしあえる関係づくりに取り組みます。
 - 青少年による美化活動など多世代交流の場をつくり、団地がふるさとなるような取組を一緒に考えます。

かちだ地区

勝田団地

めくばりきくばりおもいやり



勝田団地のイチョウ並木

「地区別計画」とは

かちだ地区に住む人たちが住み慣れたこのまちで安心して暮らせることを目指し、自治会、地区社会福祉協議会をはじめとするかちだ地区のさまざまな団体、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザと一緒に地域の課題解決に向けて取り組んでいくための計画です。

地区の概況

市営勝田住宅(勝田団地)を範囲とする地域です。
勝田団地は、昭和41年から61年に建設され、41棟・1,534戸からなります。設備の老朽化対策とバリアフリー化のため、平成15年度より住戸改善事業が行われました。
令和7年9月末時点の入居者は1,875人となり、地域の高齢化は一段と進行しています。65歳以上の割合(高齢化率)は65.6%であり、そのうち約半数はひとり暮らしです。高齢者の孤立死、閉じこもり等の課題に対して、地域の見守り活動が進められています。



新栄地域ケアプラザの
詳しい情報はこちら
➡

 592-5255